

わーく&らifu

令和元年10月7日 進路指導部 発行

■CONTENTS■

★職員進路研修職場ルポPart2～卒業後の姿・社会のモノサシに触れる実践～
JMUビジネスサポート株式会社（長洲町）社会福祉法人きらきら（玉名市岱明）

職員進路研修 職場ルポPart2 ～卒業後の姿・社会のモノサシに触れる実践～

■JMUビジネスサポート株式会社

荒尾・玉名から長洲へドライブすると、遠くからも見える巨大な赤いクレーン。巨大タンカーや客船の造船で世界的に有名なジャパンマリンユナイテッド株式会社のランドマークです。

JMUビジネスサポート株式会社は、このジャパンマリンユナイテッド株式会社の「特例子会社※注1」です。

●設立の理念

「障がいのある方を雇用し、社会参加を促すとともに仕事を通して達成感・充実感を得ることで障がいのある方の自立支援を助けたい」という思いで設立されました。

本社はここ長洲町で、その他造船で有名な全国2都市（広島県呉市、京都市舞鶴市）に支店があります。

長洲町にある「有明本社」では、環境整備グループに本校卒業生の2名が就職し、毎日の仕事に頑張っていました。

＜卒業生Iさんの一日＞

8:00 体操・朝礼・ミーティング
8:10 移動(自分の担当場所へ)
移動後、作業開始
室内清掃 机拭き(100机以上)
ゴミ回収、床拭き、階段掃除等
お昼の湯茶準備及び片付け
トイレ掃除 手洗場の石けん補充
16:30 作業終了
16:55 作業日誌記入 終礼



「技能検定で学んだ机拭き」

●会社の方へ聞きました

- ★月に1度話を聞く機会を設け、思いを聞き出す工夫をしています。
- ★高等部在学中に「清掃技能検定」に向

け清掃技能を習得しているの、一般の高校卒業生と比べても即戦力として役立っています。

★作業内容に慣れ、清掃場所の順番等を自分で計画を立て行っています。

★今では、「いないと困る」という存在になっています。



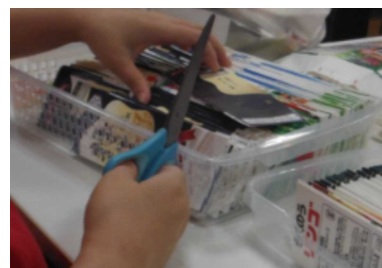
注1「特例子会社」とは。

障害のある方の安定的な雇用の促進のために設立された会社です。雇用率を達成する目的で主に「大企業」が子会社として設立するのが主で、熊本にはここを含め3社しかありません。障がいや特性に対するサポート環境が整っているところが多く、働きやすい職場環境と言えます。

■社会福祉法人きらきら

きらきらは「地域で生活ができるようにしたい。」との思いで設立されました。

設立当初の利用者は4～5名程度でしたが、現在は100名程度と、地域の方々にとても頼りにされている施設です。玉名と荒尾に多くの施設があります。



「牛乳パック切り(紙すき)」

今回の研修では、生活支援センターきらきら（生活介護）を見学しました。

きらきらの利用には「障がい支援区分3以上」が必要になります。

その中でも比較的支援度合いが低く自立を目指す方は、作業（牛乳パック手漉き和紙）メインの活動を、また、支援度合いが高い利用者は、個別に活動を行っていました

●グループホーム見学

お邪魔したグループホームは、個室と、共同のリビング・食堂・風呂場・トイレがありました。個室は、家庭に近い生活に配慮し利用者と家族が好きなレイアウトにしてもよいとのことでした。

実際には、ベッドのある部屋・テレビのある部屋など、それぞれが過ごしやすい空間になっているそうです。

グループホーム利用希望者はとても多く、居室には限りがあるため、現在50～60名が順番待ちとのこと。

施設の担当者からは『高等部卒業後どのような生活を送るかイメージした「最初の相談」』のすすめがありました。まずは、ショートステイ利用から慣れることがお勧めとのことでした。

編集後記

私たちはつい、まだ小学生（中学生）だから先のこと、と思いがちです。

しかし、たとえばグループホームでの生活など、卒業後のイメージにつなげる取組のうち、いまから考えることを考え、少しずつ試してみることの大切さを感じました。

子どもたちの将来に向けての夢や希望、思いを大切に、毎日を過ごしていきたいと強く感じた研修でした。（中学部 境）

